

11

NOV 2021
VOL.145

心と心をビビビと結ぶコミュニケーションのお手伝いペーパー

ishin-déns hin

Let's コミュニケート!
ひそかなるのしみ

きおく画伯
反抗期なのかも…

社長と行こう！こっそり食堂
大塚の味です。

特集

蒲郡が誇るディープスポット

「新箱根」

水野印刷工芸
社内報

ミデコの日々の取り組みを
知っていただくため、
社外にもお配りして
います。

みかわんこ▶





新箱根の名称

新箱根は山側から海を見下ろした景観や、クネクネした峠の景観が箱根を彷彿とさせることから新箱根と呼ばれています。

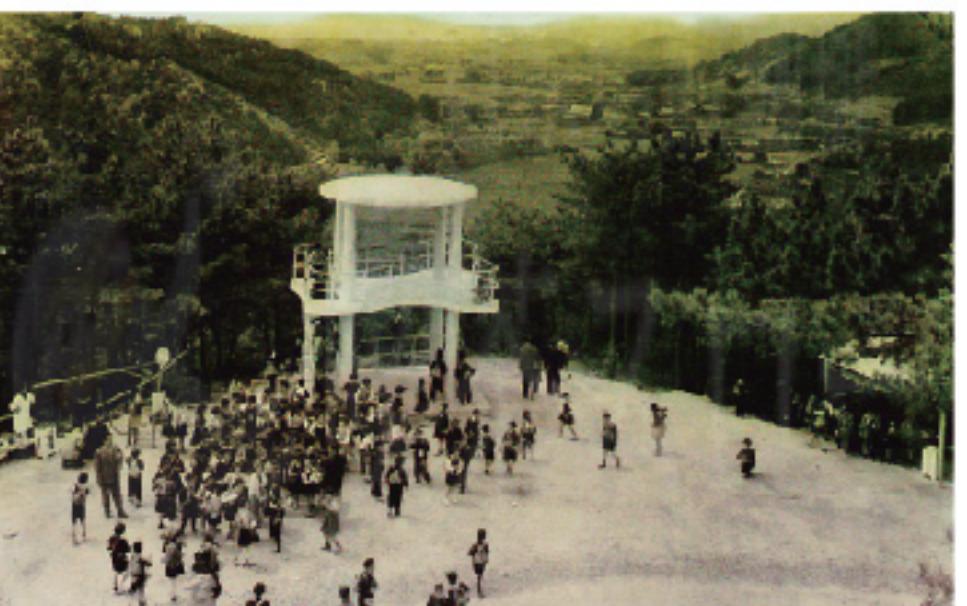
新箱根の歴史

かつては蒲郡の行商人が魚介類や雑貨などを宿場などへ卸に行く際に、用いられました。1934（昭和9）年、蒲郡から鉢地峠をトンネルで越え、本宿村（現岡崎市）へと至る県道が開通。鉄道の普及など物流網が次第に整備されると観光道路としての意味合いが濃くなっていたそうです。かつては路線バス（愛電自動車（現名古屋鉄道））も運行しておりました。



路線バスが行き交うかつての新箱根
(新箱根鉢地坂 (はっちざか) U形ドライブ道)

愛知県図書館より
https://websv.aichi-pref-library.jp/chiki/jyousetsu_9.html

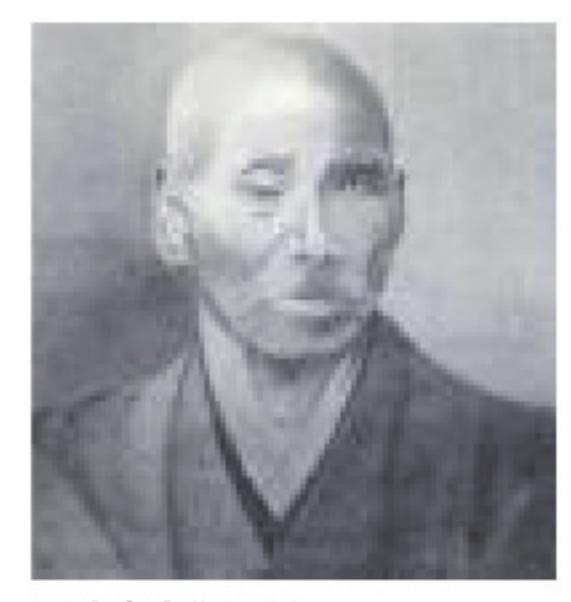


新箱根鉢地坂展望台

喫茶スロースブログより
<https://slothcoffee.jp/archives/656>

鉢地坂トンネル

道中の鉢地坂トンネルは昭和8年より現役で使用されているアール・デコ様式の格式あるトンネルです。西宝地区の総代尾崎市右衛門さんがトンネルの必要性を当時の知事に訴え実現したそうです。トンネル開通により本宿へのアクセスが良好になりました。現在でも多くの車両が行き交い、トンネルの幅員の狭さで初めて訪れる人々を圧倒します。実際は普通乗用車なら問題なく離合できる幅（4.5m）がありますが、対大型車はちょっと厳しいです。トンネル近くに鉢地坂開鑿碑があり、トンネル開通までの経緯について事細かに紹介されています。



尾崎市右衛門氏
蒲郡市ウェブサイトより
<https://www.city.gamagori.lg.jp/site/internet-tv/g-tv-premium3.html>



幅員のわりに大型車の往来も多い
グーグルマップより



ホテル街

新箱根といったらこのホテル街が有名ですね。廃墟含めると相当な数のホテルが道沿いにたっています。いずれも昭和にタイムスリップしたような外観で、ノスタルジーさと山中という場所もあってなんともミステリアスな雰囲気です。



城郭風ホテル竹千代（廃業） グーグルマップより

危険な道

狭く、険しく、エンドレスなブラインドカーブ、少なくない交通量の危険な道です。岡崎市街地方面から1号線を通り、蒲郡に行く場合は新箱根を経由した方が早く蒲郡市内に行けます。そういった理由なのか、走りにくい道の割には交通量が多く、先が見えないため非常にリスク高い道です。安全を考えれば、遠回りですが、オレンジロード（音羽蒲郡道路）経由の方が安全に行けると思います。オレンジロードも大型トラックとそれなりの速度ですれ違ったりするので、怖いっちゃ怖いのですが（特に長沢トンネル内）。



グーグルマップより

まとめ（感想）

新箱根を通る際はけっこう覚悟がいるので、なかなか通りませんが、たまに通るとプチ冒険気分を楽しめるかもしれません。安全運転でソフトなスリルを楽しむにはもってこいです。あと、最近の車はワイドな車幅のモデルが多いので、昔ながらの狭い道はちょっと窮屈ですよね。今じゃ車幅1800mm以上は当たり前です。昔の小さい車なら離合も簡単だったかもです。



ミデコラム

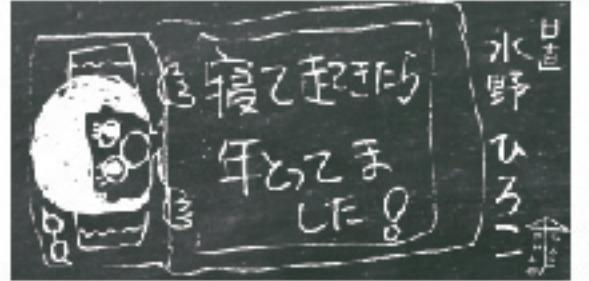
今月のわか編集長
山本兼佑

にわか編集長とは!?

ishin-denshin の編集長は持ち回り制。特集ページの執筆や、みんなのコラムにコメントをつけたり小コーナーの原稿をまとめるのが主な仕事です。



ミデコ社員ひとりひとりが、それぞれの個性を活かしたコラムを掲載!



第112回

編む以外の発見

昨年、コロナ自粛でやることもなく(コロナでなくても毎日代わり映えしない生活でしたが)何年か振りで編み物をした。そして孫の帽子等何点か編み上げた。しかし、途中で放り投げてしまったものも。そこで今年は、50の手習いというか人生後半に何かしようとイチから編み物を先生について、習うことを決心。近隣のカルチャーセンターで講座を探し、2021の後期の講座に申し込んだ。講座の前に前もって電話があり、編み物の腕前について聞かれ、自己流なのでキチンと習いたいと伝えた。一回目の講座は、私ともう一人若い女性の方が初心者であとの方は、自分でそれぞれ編み物をはじめ、分からぬことだけ聞いているという感じである。先生の指導



第113回

NO MORE 時間泥棒

急に思い立って金曜の晩に映画を観に行きました!「空白」!蒲郡ロケの作品を観

KEN
BUN ROCK

のもと、きのこのあみぐるみを作る。作り目から増やし目、減らし目をし、途中こんがらかると「先生すみません」と二時間。そしてその日で何とかあみぐるみ完成!

そして、先日二回目に出掛けた。今度はバック作り。編み図を見ながら無心に手を動かす。二時間があつという間に過ぎた。編み物は、目数を間違えないように編むのとまだまだ初心者の私は、指先から目を離すことができない。うーん。これって他のことは何にも考えないので瞑想というか滝に打たれてる感じかも? 回りもおしゃべりする人もいなく、静かに時が流れる。しかし一瞬、「昼ごはん何食べようかな」と邪念が。案の定、編み図に印をつけ忘れ、どこまで編んだか分からなくなる。いかんいかん。という感じ。

こんな風に編み物教室で心を整えることもできるんだと発見した二時間なのである。

にわか編集長コメント

無心になれる時間って大事ですね。一意専心、そんな時間を持ちたいです。「太り過ぎたきのこ」の次は「痩せ過ぎたきのこ」なんていかがでしょう?

るべきかと思いつつも、前から気になっていた「007 NO TIME TO DIE」を観たのです。映画館が久々過ぎて勝手が分からぬので、まずは検索、今はネットで席を予約できるんですね。便利な世の中です。少し早めに行き、蒲郡のイオンとは規模の桁が違う岡崎のイオンの広大さを満喫しました。同じイオンでもこんなにも違うのかとただただ圧倒された次第です。食品売り場のセルフレジの台数や客数も、専門店数も圧倒的! 失礼ながら蒲郡のイオンはミニイオン、イオンスマートか改名したほうがいいのでは? 完全に名前負けしているので、もう少し謙虚な名前にすべきかと改めて感じます(自分、イオン蒲郡の常連ですが)。

いろいろショッピングを楽しんだのち、胸を高鳴らせつつ映画館へ。端末にQRをかざし、予約していた席を発券。簡単。今は何でもQR。あまり実用的と思っていなかったQRがここまで生活に浸透するなんて思わんかったです。入場時間となりゾロゾロとお客様が劇場に入っていきます。狙い通り夜は空いておりました。スカスカの映画館の方がありがたい。入場アナウンスの若い子。新人さんでしょうか、アナウンスに大変苦戦しており、心の中で応援させていただきました(絶対緊張するもん)。

さあ劇場の指定席に座り、まだかまだかと胸を高鳴らせます。お! 始まるか… まずは他の映画の紹介っすよね。久々だし映画情報を仕入れることにしましょう。…

ん? … ん? 映画情報いつまでやるだん…。 … お、映画情報が終わった。いよいよか…

地元企業のCM …… (今はこんなCMも流れるのか)…… さあ今度こそは… 「NO MORE 映画泥棒」(劇場側は時間

きおく画伯

第64回

お題 トトまる (ポートレース蒲郡)

描いた人 山本さん



意外と似てる!! …と思ひきや、あれ、見れば見るほどそうでもないかも…この辺りで見るのやめたほうが良いですか??



泥棒っすけど)凝ったパルクールの映像も全く楽しめず ……(やっと終わった)… 新型コロナウイルス感染対策への取り組み…(ご時勢だしうががないないっすね)… 劇場換気について …(OK、OK)… お次はイオンシネマのカッコイイオープニングムービー(短時間ですが、ちょっと…). よし、これでコンプリート。本編開始です。ここまでに20~30分ほどかかったような気がします。最近はオンライン配信(広告なし)の映画しか見てなかったので、すぐに本編が始まらないとキツイですね。数分ならまだしもお金を払ってまで、強制的にCMを延々と観させられるのはなんか違う気がします。他の映画の宣伝は全然OK! 映画の内容と関連性の低い広告は成果もよくないでしょうから、観客、広告主双方に損な気がします。1300円でしたが、2000円でも良いので、広告無し枠を作っていただきたいものです(切実に)。テレビCMすら苦痛に感じる今日この頃の自分にあっては長いCMは苦行そのものなのです。



とまあ、今回は上映前のCMの長さについてあまりに衝撃的だったので書かせていただきました。映画自体は素晴らしい、ダニエル・クレイグが演じる最後のボンドということで、感慨深いものがありました。やはり映画館で見ると、爆発や銃撃の迫力がすさまじく、実際に自分が撃たれているような錯覚もあり、また海外の美しい景観が映れば、海外旅行気分も味わえるので、疑似体験としては極上のエンタメだと改めて実感しました。長いCMが少しトラウマなので、しばらくは足を運べないと想いますが…。

にわか編集長コメント

映画鑑賞の素晴らしさを改めて実感した次第です。気になる作品あれば、また観に行きたい思います!



第112回

背筋から感冒

選挙からスタートした霜月。みなさん、投票行かれましたか?

「選挙に興味がないなら、投票所へ行って白紙投票してこい。それが意義ある行動だ」かつて、社会科授業中の余談で先生がおっしゃったことばに感銘を受け、ほぼほぼ皆勤賞くらい選挙に足を運ぶ私。この話を受け継ぐべく次男に語ると、「ふーん。…どう違うの?」

うつ…それは…肝心なところを覚えてないダメな生徒、それが私。先生、すいません。

さ、さて。今月の蹴球小僧はワクチンと就職活動で「365歩のマーチ」状態の長男はともかく、次男は毎週末リーグ戦。しかも、Aチームのトップリーグに他学年のリーグ戦も奔めきあって、メイングラウンドがあまり普段使わないピッチ。駐車場は多いし、新しい施設なのに…目視でも確認できるくらいアップダウンの多いピッチ…一言で言えばぼこぼこ…いやぼっこぼこ。せめて均してくれい。小僧たちの評価もすこぶる悪い。

先日、日本上空に居座った低気圧の影響か、ビュービューの寒風に抗いながら戦った次男たち。ただでさえ疲れただろうが(見てた私も全身ガッチガチで頭痛発症)、中には午前中に高校体験をしてから参加の小僧もちらほら…お、お疲れい。

そななか、試合後にAチームがホームグラウンドでトレーニングをやるから、来れる子は参加してください、とのお達し。口には出さぬが小僧たち「今日は勘弁してください」と思ってたそうな。

ふと、コーチの隣にいた我が家のかわいい次男、

コ:「次男、おまえ来れる?」

次:「すいません…今日はこのあと家庭の事情があって…」

コ:「なんだよダメか~」の実にスマートなお断り炸裂。思い当たる用事のなかった私はもちろん、周りの小僧たちも頭の中は

「家庭の事情って? ??」

コーチが帰った後、そばにいた小僧に「家庭の事情って何があんの?」

と聞かれた次男。しれっと「え? 今日鍋だからさ。ウチ。」

一瞬の静寂の後「…つっくだらねーw」妙に盛り上がる一団。

「だよね、鍋は家族みんなでやらないとね！」(一本締めの幻聴が聞こえる…)
あははーじゃーねー、の解散を一步引いて見てた私、どんびき…。

なんだあのこなし方。銀座のホステスさんかっ。知らんけど。寒風あいまって母は軽く風邪をひいてしまいましたとさ。



▲この日はごま豆乳鍋。〆はカルボナーラ(!)、〆を心待ちにする鍋。
今シーズンのイチオシです！

にわか編集長コメント

家庭の事情、は追求しちゃあかん領域ですよね。親しい人にもあまり聞けないですもんね。それ以上は境界を超えちゃってますもん。鍋は重要ですよ。家族の団欒こそ何より優先すべきです！自分も選挙は皆勤賞です！

第113回

黒の織田派か、白の織田派か

ヤフーニュースの「過去の名作ドラマを鑑賞する」というコラムでの『振り返れば奴がいる』を取り上げていた。あまりの懐かしさに思わず一気読み。ドラマ大好きの自分にとってベスト3に入る思い出深い名作だ。1993年1月からフジテレビ系水曜劇場枠で放送された医療ドラマ。当時20代後半の織田裕二大先生と石黒賢大先生のダブル主演は、今時の医療ドラマとはまったく違う新鮮なもので初回放送からのめり込んでいたことを今でもよく覚えている。脚本はまだ無名だった三谷幸喜大先生。今でこそ大河ドラマも手がける超売れっ子脚本家だが、この作品がゴールデンタイムで初の連続ドラマ作品だったことを知っている人はかなりの業界通と見た。既に決まっていた脚本家の降板で急遽ピンチヒッターとして起用された三谷さんは元々喜劇作家だけに一度は断ったそうだが、それでもいいからと押されて書いたらしく。しかし重厚な医療ドラマにあってその得意とするコメディ的な要素はどんどん現場で変えられていくことにショックを受けたそうだが、この作品の成功で翌年「警部補・古畑任三郎」が誕生。その後の活躍ぶりは説明するまでもないだろう。

さて肝心のドラマだが主演の一人、天才的な技術を持つ外科医・司馬江太郎を演じる織田裕二がとにかくワルイ(笑)。麻雀好きでヘビースモーカー、もらえる賄賂は

ガンガンもらうし、要求もする。死んだと思った患者の生体反応があっても見殺しにする。オロオロする研修医・峰春美(松下由樹)を「スイッチを切れっ！」と大声で一喝するシーンは今なお脳裏に焼き付く名場面の一つだ。一方、カンザス州からやってきた正義漢の外科医・石川玄を演じる石黒賢。患者のことを第一に考え、救える命を全力で救う医師の鏡。非人道的なやり方も厭わない司馬のやり方を認めることができず、その技術は認めるものの司馬を追放することに躍起になっていく。まさに黒の司馬と白の石川。馬が合うはずもない二人は医師としての信念を巡って激しく衝突する。とにかく顔のドアップが多い本作品。思わず噛み付かんばかりの接近戦は、今のご時世では考えられないカメラワークに思わずドキドキしてしまうほど。織田裕二vs石黒賢、織田裕二vs鹿賀丈史、織田裕二vs松下由樹、織田裕二vs千堂あきほ、織田裕二vs中村あずさ



など。この顔近づけ攻撃、今思い起こせばすべては司馬先生の得意技だったわけだ。もう一つ印象的だったのは病魔に冒される石川先生の回を追うごとに白くなっていく顔色の悪さ。白の石川だけにホントに白くなっていたわけではあるまいが…。はたして司馬対石川の決着は如何に、石川の病は治るのか、そしてその時司馬はどう動くのか。衝撃のラストシーンには驚かされたことをよく覚えている。このラストシーンで名を上げたのが西村雅彦

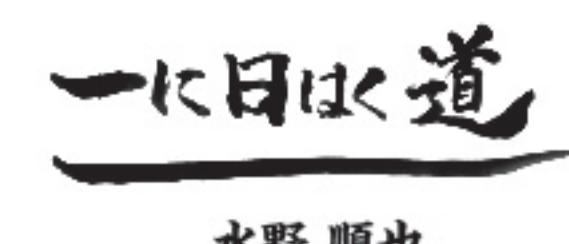
大先生。これをきっかけに注目され、急速に知名度を高めていった西村さんの影の出世作と言ってもいいだろう。

このヤフーニュースに載っていたコラムの最後には、コロナ禍の医療崩壊を経験した今、我々は改めて医療制度、医療倫理について真剣に考えるべきだろとある。作中、司馬先生は「生きていることと生かされていることは違う」と言っていたことをふと思い出した。患者を安楽死させたのは、生前その患者さんから頼まれていたから。その時の司馬先生の悲しい表情は忘れることがない。司馬と石川の激しい対立が一見際立っているが今から28年も前、既に難しいテーマを取り上げていた本作品。当時と今の医療倫理を考える上でヒントになるかもしれないドラマともいえよう。そう言えば主演のこのお二人。つい最近、Amazonプライムビデオの「株価暴落」というWOWOWで放送されたドラマで共演しているのを知り、ついつい一気見。20代の血気盛んなあの頃とはまた一味も二味も違った渋い演技に思わず引き込まれてしまった。WOWOWが池井戸潤の人気小説をドラマ化した第三弾。組織の倫理に染まらず、自らの信念に基づき突き進む孤高のパンサーに扮する織田裕二大先生。こちらは一転、黒の司馬とは真逆の「白の織田」を味わえる作品。時に演じる悪役もカッコイイものの、やはりバリバリの正義漢の織田裕二が一番しっくりくるのかもしれない。

にわか編集長コメント

織田裕二大先生はモノマネぐらいしかまともに見えていない芸能音痴な自分が、大河内さんの織田裕二愛を感じました。

安楽死のくだりは森鷗外の高瀬舟を思い出しました。ドラマ見ていないのですが。



第113回

プライマリーバランスについて（備忘録）

お恥ずかしながらこの歳になってようやく理解できたことがあった。衆議院選舉にて“プライマリーバランス黒字化凍結”というものが争点の一つに挙げられていたが、最初は何のこっちゃ？って感じだったが、新聞解説記事や経済専門家の言葉でようやくわかった。基礎財政収支は国民からの税金と国から発行される国債で次の年の国が使える予算を賄っている。要是財政赤字ということは国が使う予算を税金だけで賄えなはず、国からの借金をしないと成り立たない状況を指すものだ。この2年間のコロナ禍で相当の財政支出が発生した。それでもまだまだ足りない。主張はこんな火事場的な状況だからどんどん国債を発行すべき派とそれはわかるが、経済成長なくして分配なしというなんともどっちつかず派と別れている。また、財務省次官はバラまき合戦だといい、これ以上国債発行はいかんと主張する。

日本は財政赤字というが、他国からの借

金で成り立っていない。他国からの借金なら分かるが、日本は日本銀行からの借金である。



乱暴な言い方であるが、要は親からの借金であるから返さなくて良い。出世払いでもいい。しかも親はお金を刷る(発行)ことができる。お金を多く市場に出せばそれはそれで弊害は出ると思うが…。余談です。18歳以下に10万円を支給が決定されそうだが。であるならば義務教育中は学費はゼロ、給食費はゼロにしたほうが良いと思う。個人的にはそう思う。

にわか編集長コメント

現金支給は他にも多くの出費が発生しそうなので、何かしらの免除の方が出費が抑えられる気がします。お金を渡してあとは任せるのでちょっと無責任かなとも思います。お金の使い方なんて人それぞれです。



さんと新太さんが座ったカウンターに目がいきます。映画で見るのと、実際見るのとではけっこう違いますね。そして、劇中で桃李さんが注文したスタミナラーメンを注文。実際劇中では食べる前に新太さんに嫌味を言われ食べずに退店しまうのですが。映画のことを想いながら待っていると来ましたよ、スタミナラーメン。生にんにくがたっぷり！平日の昼間からすいません…。ラーメンは

野菜たっぷりで細麺で大変美味。昔懐かしいラーメンって感じでほっこりまいうでございます。次は桃李様専用席(?)でスタミナラーメンを食べたいものです。(今回テーブル席でしたので)

レッツコミュニケーション！

今月のお題

週末のアチャチャ



空白の口け地にもなったラーメンハウス大和さんにてこっそりランチ。ラーメンハウスという名前のお店は全国各地にあると思いますが、入店するのは初めてです。けっこう勇気いるんですよね。入店すると桃李

にわか編集長

2021.10.24 Sun.

file.64

38とん

さばの味噌煮ととん汁 ¥1,580・小サイズ ¥1,080もあり。

高すぎると本脂肉が浮かぶ
気になる今日この頃。
美味しい身体に色々な
ものが食べたい!という感じ
でござました。

さばの味噌煮ととん汁 定食のみ
という潔さ。使いい丁味噌
は「カツモー」と「まるや」の
ブランドだとうて、地元への
愛を感じます。骨まで食べ
られる珍しいわいせつと
ゴロゴロ野菜のとん汁、
とても美味しい!!(汗)ござ
ました(笑)!!

OPEN 11:00 - 17:00
CLOSED 火曜
名古屋市守山区1-8-9

にわか編集長
コメント

鯖の味噌煮!大好物ですよ~。健康にもプラスですし。一時期鯖缶買ってきて、赤だしの味噌汁に入れて食べて
いましたがなかなか絶品でした。健康的ですし。

今月の 八百万百景

いい天気、いい眺め

撮影者：山本兼佑

金剛寺前の展望台から見た三谷温泉です。展望台付近には金剛寺、弘法大師像があり、ご利益あふれるありがたい場所です。おのずと
絶景のありがたみも増してくるようです。



今月の
にわか編集長
編集後記も持ち回り制!

まだ師走ではありませんが、バタバタ気味な今日この頃です。逆に師走の頃には落ち着きそうな予感。余裕
をもって何事も取り組んでいきたいと改めて思った次第です。

山本兼佑